



2023年度

経済労働ビジョン2021-2025

進捗状況・主な取組について

目次

目標値の進捗状況について

- 進捗状況の評価基準 P 3
- 成果達成目標における進捗状況 P 4
- 進捗状況の分析結果 P 5
- 各柱ごとの進捗状況 P 6

柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出

- 次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進 P14
- 航空宇宙産業の振興 P16
- ロボット産業の振興 P17
- 革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備 P19
- スタートアップ・エコシステムの形成促進 P20
- 2024年度に追加・拡充する事業 P24

柱2 地域産業の活性化

- 商業、サービス産業、地場産業の振興 P26
- 課題解決型産業の育成 P28
- 2024年度に追加・拡充する事業 P29

柱3 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

- 愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション P31
- ジブリパークやMICE、スポーツ大会を通じた誘客 P33
- 受入体制の整備・充実と観光交流拠点としての機能強化 P35
- 2024年度に追加・拡充する事業 P36

柱4 グローバルな産業拠点機能の向上

- 国際ビジネスの拡大支援 P38
- 立地環境の整備・企業誘致の推進 P40
- 研究開発拠点の強化 P41
- 2024年度に追加・拡充する事業 P42

柱5 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

- 若者の活躍支援 P44
- 女性の活躍促進、男女共同参画社会づくり P45
- 高齢者、障害者の活躍支援 P46
- 外国人の活躍支援、多文化共生社会づくり P47
- 就職氷河期世代の活躍支援 P48
- 生き生きと働ける職場づくり P49
- 感染症の拡大に対応した雇用維持や新規学卒者の就職への支援 P50
- 2024年度に追加・拡充する事業 P51

柱6 愛知の産業を担う人材力の強化

- イノベーション人材の育成 P53
- 高度なモノづくり人材の育成 P54
- 国内外からの人材確保 P55
- 2024年度に追加・拡充する事業 P57

基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

- 経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援 P59
- デジタル技術の導入の支援 P61
- 感染症や災害リスク等に対応する取組の支援 P62
- 中小・小規模企業の魅力発信 P63
- 2024年度に追加・拡充する事業 P64

「あいち経済労働ビジョン2021－2025」の目標値の進捗状況について

進捗状況の評価基準

＜考え方＞

- (1) 2025年度における単年度目標…目標値と最新値を比較
- (2) 5年間の合計目標…目標値を5分の3としたものと最新値を比較
- (3) これまでの累計目標… $(\text{現状値} - \text{策定時点}) / ((\text{目標値} - \text{策定時点}) \times 5 \text{分の} 3)$

進捗状況の 評価判定	状況
◎	順調に進捗（90%以上）
○	概ね順調に進捗（70%以上90%未満）
△	進捗しているが更なる努力が必要（50%以上70%未満）
×	進捗が思わしくない（50%未満）
—	現時点で測定が困難

※2023年度が未確定の項目は、2022年度の実績により評価

成果達成目標における進捗状況

各柱の評価は、成果達成目標の評価判定の平均
 (◎3点、○2点、△1点、×0点として算出)とした。

柱	進捗状況
柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転の分野での社会実装件数やロボット製造業の製造品出荷額等などの指標において「進捗しているが更なる努力が必要」となったが、製造品出荷額等の全国シェアなどは「順調に進捗」していることから、全体評価として「概ね順調に進捗」となった。
柱2 地域産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の商談会開催見送りの影響で、モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等との相談・マッチング件数が一時的に落ち込んだ他は「順調に進捗」しており、全体評価として「概ね順調に進捗」となった。
柱3 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の長期化等の影響があったものの、観光入込客数などが「概ね順調に進捗」しており、全体評価として「概ね順調に進捗」となった。
柱4 グローバルな産業拠点機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> 輸出額の全国シェアや次世代成長産業などの立地件数などが「順調に進捗」しており、全体評価として「順調に進捗」となった。
柱5 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 労働力率など「順調に進捗」しており、全体評価としても「順調に進捗」となった。
柱6 愛知の産業を担う人財力の強化	<ul style="list-style-type: none"> 県立高等学校(全日制)におけるインターンシップに参加した生徒数が「進捗が思わしくない」となったが、労働力人口の全国シェアや、県内で就職を目的として在留資格を変更した留学生数など「順調に進捗」しており、全体評価としては「概ね順調に進捗」となった。
基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展	<ul style="list-style-type: none"> 経営革新計画の承認件数や事業承継の認定件数など「順調に進捗」しており、全体評価として「順調に進捗」となった。

進捗状況の分析結果について

- 成果達成目標のうち、目標達成率が**50%を下回った指標**について、**要因等の分析**を行った。
- いずれの指標においても、新型コロナウイルス感染症の長期化といった外的要因などにより、達成率が50%を下回っているものの、**今後増加見込み**や、**持ち直しの傾向**という結果となった。

	成果達成目標	要因等の分析
柱2	モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等との相談・マッチング件数	<ul style="list-style-type: none"> • 目標件数の根拠は、出張デモ（福祉施設での介護ロボットデモンストレーション）・福祉用具マッチング・メディカルメッセ事前調整型商談会実施件数の合計。 • 出張デモに関しては、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、福祉施設等からの出張デモ実施への申し込みが減少し、実施件数の減少につながった。 • 例年開催されている医療機器分野の展示会・商談会「メディカルメッセ」の機会を活用し、「事前調整型商談会」によるマッチング等を実施しているが、今回は来年度4月開催となったため、今年度の実施がない。来年度は同展示会・商談会が開催されるため、大きく増加する見込み。
柱6	県立高等学校(全日制)におけるインターンシップに参加した生徒数 ※2022年度の実績により評価	<ul style="list-style-type: none"> • 2022年度は、新型コロナウイルス感染症の長期化の影響により、インターンシップ等の体験活動の実施が難しい状況が続いたため。 • しかしながら、2021年度実績6,763名に対し、2022年度は8,605名と増加しており、持ち直しの傾向にある。

進捗状況① 柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
製造品出荷額等の全国シェア	15.0%程度 (単年度目標)	14.6% (2020年)	14.5% (2021年)	◎
「自動運転」の分野での社会実装件数	3件 (5年間の合計目標)	1件	1件	△
中部地域の航空宇宙産業の生産高	1.08兆円 (単年度目標)	6,146億円 (2022年度)	－ (未確定)	(△)
ロボット製造業の製造品出荷額等	3,005億円 (単年度目標)	1,865億円 (2020年)	1,954億円 (2021年)	△
スタートアップと様々なプレイヤー間の共創による新規事業開発件数 (年間)	50件 (5年間の合計目標)	102件	－ (未確定)	(◎)

※括弧付きは、2022年(度)実績で評価したものの

進捗状況② 柱2 地域産業の活性化

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
サービス産業の経営革新計画の承認件数	120件 (単年度目標)	156件	115件	◎
主な商店街のうち、通行量の改善した商店街の割合	90% (単年度目標)	87.5%	－ (未確定)	(◎)
モノづくり企業と福祉施設・医療機器メーカー等との相談・マッチング件数	80件 (単年度目標)	96件	25件	×

※括弧付きは、2022年（度）実績で評価したもの

進捗状況③ 柱3 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
観光消費額	1兆円 (単年度目標)	6,997億円	－ (未確定)	(△)
観光入込客数	1億2,000万人回 (単年度目標)	0.9億人回	－ (未確定)	(○)
観光消費額単価	日本人：6,450円 外国人：65,790円 (単年度目標)	日本人：7,482円 外国人：3,636円	－ (未確定)	(○)

※括弧付きは、2022年（度）実績で評価したもの

進捗状況④ 柱4 グローバルな産業拠点機能の向上

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
輸出額の全国シェア	21.0%程度 (単年度目標)	22.0%	23.7% (速報値)	◎
外国企業の誘致件数	40件 (5年間の合計目標)	8件	13件	△
次世代成長産業などの企業立地件数	75件 (5年間の合計目標)	34件	57件	◎
研究開発費の全国シェア	15.0%程度 (単年度目標)	16.1% (2020年度)	14.2% (2021年度)	◎

進捗状況⑤ 柱5 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
労働力率	64.5%を上回る (単年度目標)	65.3%	65.1%	◎
若者(25～44歳)の完全失業者数	25,000人以下 (単年度目標)	35,000人	－ (未確定)	(○)
女性(25～44歳)の労働力率	78.8% (単年度目標)	77.2%	－ (未確定)	(◎)
高齢者(65歳以上)の労働力率	26.9% (単年度目標)	26.8%	－ (未確定)	(◎)
民間企業における障害者の法定雇用率達成	法定雇用率2.3%の達成 その後、法定雇用率の維持 (単年度目標)	2.19% (2022年)	2.28% (2023年)	◎
年次有給休暇取得日数	10日 (単年度目標)	12.3日 (2022年)	11.8日 (2023年)	◎
中小企業のテレワーク導入率	30.0% (単年度目標)	18.1% (2022年)	21.4% (2023年)	○
一般労働者の年間総実労働時間数	1,950時間 (単年度目標)	1,964時間 (2022年)	－ (未確定)	(◎)

※括弧付きは、2022年（度）実績で評価したもの

進捗状況⑥ 柱6 愛知の産業を担う人財力の強化

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
認定職業訓練生数	25,000人 (単年度目標)	16,278人	－ (未確定)	(△)
技能検定合格者数	8,500人 (単年度目標)	6,840人	－ (未確定)	(○)
労働力人口の全国シェア	6.2% (単年度目標)	6.2%	6.1%	◎
あいちUIターン支援センターを通じた 県内企業への就職決定者数	250人 (5年間の合計目標)	137人	209人	○
県内で就職を目的として在留資格を 変更した留学生数	1,500人 (単年度目標)	1,575人	－ (未確定)	(◎)
県立高等学校(全日制)におけるインターンシ ップに参加した生徒数	18,000人 (単年度目標)	8,605人	－ (未確定)	(×)

※括弧付きは、2022年(度)実績で評価したもの

進捗状況⑦ 基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

成果達成目標・進捗状況

項目	目標	2022年(度)実績	2023年(度)実績 1月末時点	進捗状況
開業率	6.0%程度 (単年度目標)	5.00%	4.7%	○
中小企業の製造品出荷額等シェア	10.0% (単年度目標)	8.56% (2020年)	8.54% (2021年)	○
経営革新計画の承認件数 (年間)	300件 (単年度目標)	391件	276件	◎
事業承継の認定件数	500件 (5年間の合計目標)	247件	302件	◎
事業継続計画を策定している中小企業割合	13.0% (単年度目標)	13.5% (2021年度)	－ (未確定)	(◎)

※括弧付きは、2022年（度）実績で評価したもの

柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出

概要

- 愛知県の強みであるモノづくりとデジタル技術を組み合わせた革新的技術の社会実装の推進
- オープンイノベーションを基本コンセプトとした愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実

目次

- 次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進 P14
- 航空宇宙産業の振興 P16
- ロボット産業の振興 P17
- 革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備 P19
- スタートアップ・エコシステムの形成促進 P20
- 2024年度に追加・拡充する事業 P24

1 次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進①

2023年度予算額
129,882千円

- ▶ 交通事業者等が実運行で**再現可能なビジネスモデルの構築**を目指した実証実験を実施

取組内容

- **一般客向けの定期運行（常滑市）**
 - ・一般客向けに3か月にわたり運行
 - ・小型バス車両の自動走行性能の向上
- **将来の無人自動走行に向けた検証（長久手市）**
 - ・外周園路の自然環境等に対応した自動走行技術の検証
 - ・無人自動走行に向けた遠隔監視体制の構築
- **都心の道路環境に対応したスムーズな自動走行（名古屋市）**
 - ・幹線道路の車速に対応した自動走行
 - ・交通量の多い中での右左折等の自動化



小型バス車両（常滑市）



小型EVバス車両（長久手市）

今年度実績

自動運転の実証実験件数

15件

2016~
68件

1 次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進②

2023年度予算額
18,385千円

- ▶ CASEやMaaSといった「100年に一度の大変革期」において、本県産業を支える自動車サプライヤーを支援するため**新事業展開**や**販路拡大**に関する取組を実施

取組内容

- 電動化やカーボンニュートラル対応に関するセミナーの開催
- 新事業開発に関するセミナー、ワークショップの開催
- 新事業立ち上げを事業開発の専門家等がサポートしハンズオン支援
- 世界最大級の大規模展示会「オートモーティブワールド」への出展支援



ワークショップの様子

今年度実績

ハンズオン支援社数

8 社

2020～
22社

オートモーティブワールド
出展支援社数

5 社

2016～
47社

セミナー参加人数

130 名

2020～
280名



オートモーティブワールド 愛知県ブース
(開催日：2024年1月24日～26日)

2 航空宇宙産業の振興

2023年度予算額
109,045千円

- ▶ 県が中心となり、地域の行政、支援機関、業界団体及び大学で構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」において、**販路拡大、人材育成**等の支援を実施するとともに、航空機需要回復期における**受注獲得支援、競争力強化支援**を実施

取組内容

- ▶ パリエアショー2023等の展示会・商談会への出展支援
- ▶ 航空宇宙産業の各階層に焦点を当てた人材育成講座の実施
- ▶ 認証取得・運用改善のための専門家派遣の実施
- ▶ 高付加価値分野等への販路開拓に対する集中的なハンズオン支援

今年度実績

展示会・商談会に
おける商談件数

905件

2019~
4,301件

人材育成講座の
受講人数

2,414名

2019~
9,456名

県内企業の
品質認証取得件数

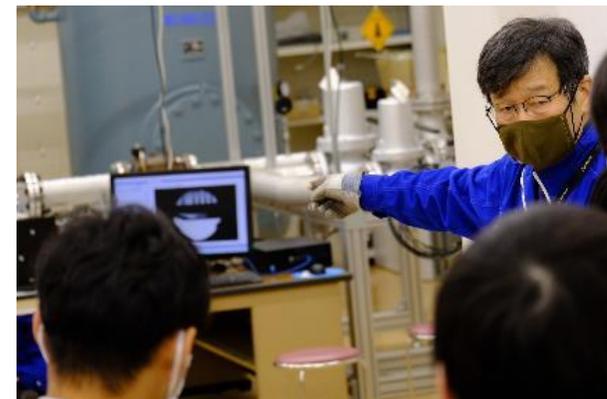
254件

あいち・なごや
エアロスペース
コンソーシアム

設立：2018年8月24日

目的：当県における航空宇宙産業の継続的な発展のため、地域が一体となって推進するための事業を実施すること

構成：県、名古屋市、中部航空宇宙産業技術センター、あいち産業振興機構 等



設計演習講座



パリエアショー2023

3 ロボット産業の振興①

2023年度予算額
64,294千円

- ▶ 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核として、次世代産業の大きな柱として育てるため、**ドローン**や**介護・リハビリ支援ロボット**の活用、**サービスロボット**の社会実装を促進

取組内容

- 「あいちサービスロボット実用化支援センター」における開発企業に対する相談対応、施設等とのマッチング支援
- 介護・リハビリ支援ロボットの開発側・利用側双方への助言・マッチング支援
- ドローンの新たなユースケース創出を目指した実用化レベルでの実証実験
- 県内商業施設等での、現場用途に即したサービスロボットの实証実験



高積載ドローンを活用した救援物資輸送の実証実験

今年度実績

介護・リハビリ支援ロボットの
現場導入・活用支援件数

2件 2021～
6件

無人飛行ロボットを活用した
ビジネスモデルの創出件数

1件 2021～
5件

サービスロボットの
実証実験件数

4件 2021～
13件

サービスロボット実用化
支援・相談対応件数

141件 2021～
266件



半田病院におけるサービスロボットの实証実験

あいち
ロボット産業
クラスター
推進協議会

設立：2014年11月18日

目的：産学行政が連携して、ロボットの研究開発や生産の拠点を形成し、新技術・新製品を創出していくことにより、世界に誇れるロボット産業拠点を形成すること

委員：県、行政機関、経済団体、ロボットメーカー、有識者 等

会員：ロボットの利用側・開発側・支援機関 600社・団体(2024年1月末現在)

3 ロボット産業の振興②

2023年度予算額
64,876千円

- ▶ モノづくり現場の自動化を担う**ロボットシステムインテグレータ（ロボットSIer）**の**人材創出**を目的とする**高校生ロボットシステムインテグレーション競技会（SIリーグ）**を開催

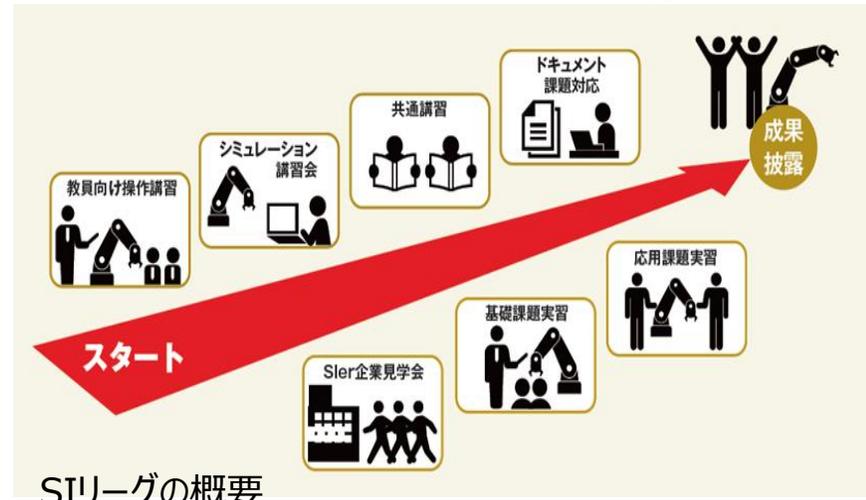
取組内容

- システムインテグレーションをテーマとした全国唯一の高校生競技会
- Aichi Sky Expoで第2回競技会を開催(2023年12月9日、10日)
- ロボットSIer企業10社による参加チームのサポートを実施
- 競技にはモノづくり現場で実際に使われている産業用ロボットを使用(デンソーウェーブ、FUJI、三菱電機製のロボットを使用)

今年度実績

参加チーム・人数 **14**校・**88**名

賞名	受賞校	部門
最優秀賞	岐阜県立岐阜工業高等学校	三菱電機
優秀賞	愛知県立愛知総合工科高等学校	F U J I
優秀賞	栃木県立足利工業高等学校	デンソーウェーブ
技術賞	愛知県立半田工科高等学校	デンソーウェーブ
新人賞	愛知産業大学工業高等学校	F U J I
アイデア賞	愛知県立豊橋工科高等学校	オープン参加枠
オーディエンス賞	愛知県立半田工科高等学校	デンソーウェーブ



高校生によるデモンストレーション

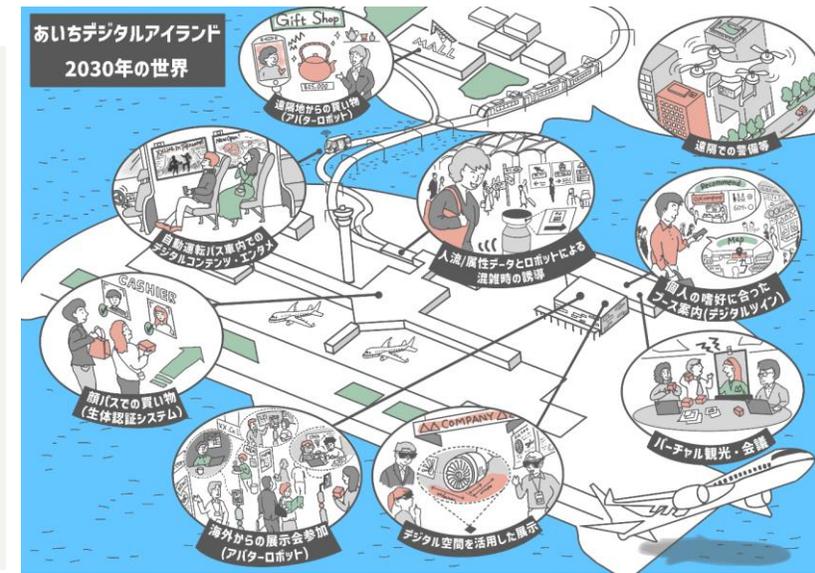
4 革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備

2023年度予算額
199,212千円

- ▶ 中部国際空港島及び周辺地域（以下「当エリア」）において、2030年に世の中での普及が見込まれる近未来の事業・サービスを先行して実用化することを目指す「**あいちデジタルアイランドプロジェクト**」を推進

取組内容

- 「データ活用」、「デジタル空間」、「ロボット」の3つの観点から、5つの実証実験を実施
- 当エリアの企業・施設と国内外のテック企業等とをつなぐビジネスマッチングを実施
- 2024年3月に開催予定の産業展示会「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」において取組の成果を披露



あいちデジタルアイランド2030年の世界イメージ

今年度実績

実証実験件数 **5** 件

2022~
10件

- 「データ活用」、「デジタル空間」、「ロボット」の3つの観点から、5つの実証実験
- 「データ活用」…生体認証システム、人流・属性データを活用した行動変容
- 「デジタル空間」…デジタル空間を活用した展示、展示会場のデジタルツイン
- 「ロボット」…アバターロボット

5 スタートアップ・エコシステムの形成促進①

2023年度予算額
4,749,625千円

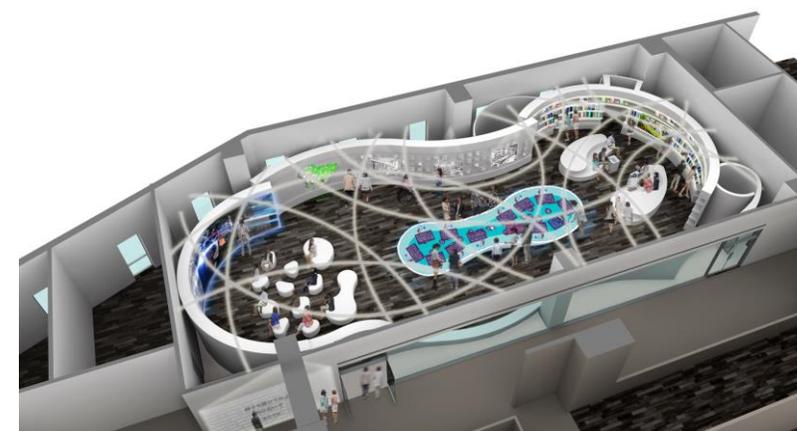
- ▶ 2018年に策定した「**Aichi-Startup戦略**」に基づき、スタートアップの創出・育成・展開・誘致に重点的に取り組み、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実を図る
- ▶ 日本最大のスタートアップ支援拠点「**STATION Ai**」の整備を推進。（2024年10月オープン予定）

取組内容

- 「STATION Ai」の整備の推進
- 愛知県ゆかりの創業者・経営者の業績等を伝える「あいち創業館」の整備推進
- 「STATION Ai」のオープンに先駆け開設した「PRE-STATION Ai」におけるスタートアップの総合支援の展開
- 「STATION Aiパートナー拠点」の設立と地域支援



STATION Ai



「あいち創業館」イメージ

今年度実績

PRE-STATION Ai
メンバー数

357 社

STATION Aiパートナー拠点数

2 拠点

5 スタートアップ・エコシステムの形成促進②

2023年度予算額
553,077千円

- ▶ **世界トップレベルのアクセラレーター**による県内等のスタートアップの成長支援と、海外スタートアップと県内企業の**協業促進プログラムの実施**
- ▶ 7か国16の**海外スタートアップ支援機関・大学等との連携**事業の実施

取組内容

- ▶ **世界トップレベルのアクセラレーターによるワークショップ等の実施**
- ▶ **スタートアップ先進地のノウハウ習得を目指すプログラム等の実施**
- ▶ **先進地のスタートアップと県内企業との協業を促進するプログラム等の実施**



アクセラレーターのワークショップ

今年度実績

アクセラレーターのワークショップ等の参加者数

96人

2021~
327人

先進地のノウハウ取得プログラムの参加者数

82人

2020~
329人



INSEADプログラム

5 スタートアップ・エコシステムの形成促進③

2023年度予算額
317,749千円

- ▶ 起業家の発掘・育成や、起業に必要な資金支援と事業成長に向けた伴走支援など、スタートアップの成長段階に合わせた支援や、**スタートアップとのオープンイノベーションに向けた取組**を推進する

取組内容

- ▶ ディープテック系スタートアップへの総合的な支援
- ▶ スタートアップ特有の人材採用支援の展開
- ▶ 学生・社会人等の起業家の発掘、育成プログラムの実施
- ▶ 全国のスタートアップと県内企業とのオープンイノベーション促進
- ▶ 小中高生への起業家育成プログラムの実施
- ▶ 起業支援金の支給・伴走支援



小学生向け起業家精神育成プログラム



マッチングプログラムの様子

今年度実績

起業支援事業を通じた
起業者数

27 件
(見込み)

2019~
94件

小中高生向けワークショップ
等の参加人数

376 名

2022~
620名

5 スタートアップ・エコシステムの形成促進④

2023年度予算額
429,249千円

- ▶ 2022年12月に策定した「**革新事業創造戦略**」に基づき、産学官金の多様な主体から、プロジェクトのアイデアの提案を受け付ける「**革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）**」を運用
- ▶ デジタルヘルスや農業、次世代モビリティ、環境、スポーツなど、様々な分野で**愛知発のイノベーションプロジェクト**を立ち上げ

取組内容

- 同戦略の枠組みにより、官民共同で実施する事業として、「**あいちモビリティイノベーションプロジェクト**」と「**あいちスポーツイノベーションプロジェクト**」の具体化に向けた検討を実施
- 民間主導で実施する事業については、「**革新事業創造事業費補助金**」により、事業化を支援
- この他、「**あいちデジタルヘルスプロジェクト**」「**あいち農業イノベーションプロジェクト**」「**あいち環境イノベーションプロジェクト**」の具体化に向けた検討を実施

今年度実績

プラットフォーム会員数

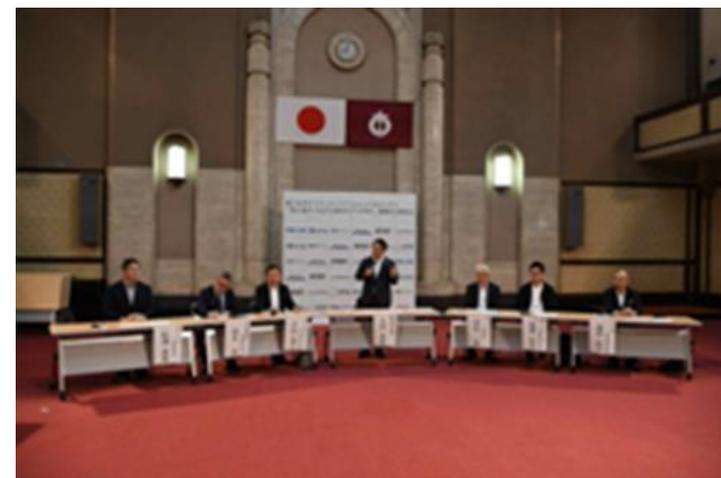
429件

もう片方の翼は、ここにある。

A-IDEA

Innovative projects
creation proposal
platform

革新事業創造提案プラットフォーム（A-IDEA）のロゴマーク



あいちモビリティイノベーションプロジェクトの立ち上げ

追加・拡充する取組

- 県内の世界的完成車メーカーや同社の一次サプライヤーに対して、県内の自動車サプライヤーが新しい素材・部品の生産などの提案を行い、新たな受発注に結びつくことを狙いとした展示・商談会イベントを開催
- 2025年に開催する「ワールドロボットサミット」に向け、機運醸成のためのイベントを開催
- 次世代バッテリーに関する「研究・実証」、「人材育成」、「製造拠点等集積化」に向けたプロジェクトを推進
- 2024年10月にオープン予定のSTATION Aiの魅力を国内外に発信するイベントの実施
- 名古屋駅付近からSTATION Ai間を自動運転で結ぶ定期運行の実施
- 本県のスタートアップ・エコシステムを世界に発信するグローバルイベントの開催
- 愛知発のイノベーションを創出するための、様々な分野における官民連携プロジェクトの推進

柱2 地域産業の活性化

概要

- 感染症や災害リスクを踏まえ、「地消地産」の視点が重要となる中、デジタル化や感染症の影響など、多様化する市場ニーズに適応した地域産業の活性化

目次

- 商業、サービス産業、地場産業の振興 P26
- 課題解決型産業の育成 P28
- 2024年度に追加・拡充する事業 P29

1 商業、サービス産業、地場産業の振興①

2023年度予算額
969,009千円

- ▶ サービス業に従事する**県内中小企業等の成功事例の創出・情報発信**等により、サービス産業の生産性向上を図る
- ▶ 「愛知商店街活性化プラン2025」に基づき、活性化に向け意欲ある商店街を支援

取組内容

- ▶ 先進的で他者の参考となるサービスを提供している中小企業等の表彰及びサービス産業の成長を後押しするためのポータルサイトの運営
- ▶ 「げんき商店街推進事業費補助金」による市町村の商店街活性化に向けた取組支援
- ▶ 「商業振興事業費補助金」による商店街等における商店街活性化に向けた取組支援
- ▶ 商店街の空き店舗への出店、利活用を促進するための空き店舗情報サイトの運営



あいちサービス大賞表彰式

今年度実績

サービス産業ポータル
サイトへのアクセス件数

15,397件

2018~
97,789件

活性化を目指す商店街等が
実施する取組への支援数

239件

2018~
1030件



商業振興事業費補助金の活用例
(祭の実施による集客力向上事業)

1 商業、サービス産業、地場産業の振興②

2023年度予算額
25,366千円

- ▶ 地場産業（繊維・窯業・生活産業）の振興を図るため、展示会出展や商談会開催等により**国内及び海外に向けた販路拡大を支援**するとともに、**産地企業へ専門家を派遣**することにより、新商品開発や人材の確保につながる取り組みを実施

取組内容

- ▶ 繊維・窯業産地への若者人材確保を支援する専門家の派遣、海外バイヤーとの商談会の開催
- ▶ 伝統的工芸品産地への販路開拓を支援する専門家の派遣や海外バイヤーとの商談会の開催、及び展示会出展支援
- ▶ 首都圏等大都市圏や訪日外国人等をターゲットにした県内産地酒のPR
- ▶ 「あいち中小企業応援ファンド（地場産業枠）」による新商品開発・販路拡大の支援



中国向けテキスタイル輸出商談会



試飲販売会（ふるさとご当地グルメ&地酒フェア）

今年度実績

地場産業の販路拡大等の支援件数



県内産地地酒PR実施回数



【専門家派遣による支援企業数】

繊維・窯業産地



伝統的工芸品産地



2 課題解決型産業の育成

2023年度予算額
830,883千円

- ▶ 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、カーボンニュートラルのエネルギーとして期待される**水素やアンモニアの利活用**を促進
- ▶ 様々な分野における水素の社会実装を目指し、2023年12月に「**水素社会実装推進室**」を設置

取組内容

- 水素ステーションの整備・運営や燃料電池産業車両（FCフォークリフト）導入に対する補助の実施
- FCフォークリフトの導入拡充に向けた既存の水素ステーションを活用した場合の水素供給に係る実証
- 「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」において、「中部圏水素・アンモニアサプライチェーンビジョン」を策定



水素ステーションの一例（セントレア水素ステーション）

今年度実績

県内水素ステーション
整備数

4箇所

県内整備数
36箇所

燃料電池産業車両普及促進事業
実証参加企業数

2社

中部圏水素・
アンモニア社会
実装推進会議

設立：2022年2月21日

（「中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議」として設立）

目的：カーボンニュートラルの実現に向け、地域一体となって中部圏の大規模な水素・アンモニアの社会実装を推進する。

構成：行政機関、経済団体、中部圏水素利用協議会（民間企業35社）、（株）JERA



燃料電池産業車両普及促進事業実証の様子

追加・拡充する取組

- 「商業者等による地域貢献活動の推進に関する条例」を制定し、理念の具現化を促進するため、商店街と大規模小売店舗などが連携して行う優れた地域貢献活動を表彰
- 「愛知万博20周年記念事業」のプレイベントとして、商店街の社会的役割を広くアピールするイベントを開催
- 地元の生地をPRするファッションショー（2025年度冬）の開催に向けた準備
- 工場の脱炭素化を進める企業の試験依頼や相談に対応するため、常滑窯業試験場に水素を燃料とする試験工業炉を整備
- 水素等の需要・供給を先駆的に進めている欧州をはじめとした海外の先進地域と連携し、意見交換等を実施

柱3 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上

概要

- 感染拡大防止と観光振興が両立（ウィズコロナ）した観光消費の喚起
- 「ジブリパーク」を始めとする大型事業・プロジェクトを活かし、「あいち観光戦略2021-2023」に基づいた観光関連産業の活性化

目次

- 愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション P31
- ジブリパークやMICE、スポーツ大会を通じた誘客 P33
- 受入体制の整備・充実と観光交流拠点としての機能強化 P35
- 2024年度に追加・拡充する事業 P36

1 愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション①

2023年度予算額
1,303,833千円

- ▶ データを収集・分析する観光動態調査を実施し、観光誘客における「データ等の合理的根拠に基づく施策立案(EBPM)」の**実践**
- ▶ 愛知県が有する地域資源を磨き上げ、その道の「ツウ」な人をも満足させる『**あいち「ツウ」リズム**』を**推進**
- ▶ **SNS**や**web広告**等を活用した効果的なPR・プロモーションを実施

取組内容

- 収集・分析したデータを活用し、県内市町村と連携したEBPM実践の実証事業で観光コンテンツを造成するとともに、デジタルを活用した広告配信
- 本県及び県観光協会、市町村で協議会を創設し、交通事業者との連携や市町村域を越えた地域資源の商品化を促進
- 外国人旅行者向け特設サイトの作成・配信や海外観光レップを活用したPR・プロモーションの実施

今年度実績

※2022年度実績

延べ宿泊者数 **1,581**万人泊

観光旅行者の満足度 **33.4**%

愛知県への再訪意向 **83.4**%

愛知県への訪問
の推奨意向

【県民】 **17.7**%

【県外在住者】 **23.2**%



インバウンド（訪日旅行者）向けに愛知県の魅力をPRする特設サイト



1 愛知県ならではの魅力向上と効果的なPR・プロモーション②

2023年度予算額
189,980千円

- ▶ 本県は信長、秀吉、家康の「三英傑」を始め、数多くの戦国武将を輩出した「**武将のふるさと**」であり、県内に数多く存在する史跡や城郭を活かした「**武将観光**」を推進している
- ▶ 2023年の**大河ドラマ「どうする家康」**の放送を契機に、市町村や観光関連団体・事業者と連携し、本県の武将観光をPRすることで、**観光誘客の拡大と周遊観光の促進**を図る

取組内容

- ▶ 「サムライ・ニンジャ フェスティバル2023」の開催等による観光PR
- ▶ 「にっぽん城まつり2024 feat.出張！お城EXPO in 愛知県」の開催
- ▶ 大河ドラマを活用した観光誘客
 - ・ ロゴマーク及びキャラクターを活用した統一的なPR
 - ・ 首都圏における観光展「あいち家康戦国絵巻in江戸」の開催
 - ・ 「大河ドラマ『どうする家康』展・名古屋城金シャチ横丁」の開催
 - ・ JR名古屋駅に「家康ゆかりの地 インフォメーションセンター」の開設
 - ・ 名古屋鉄道と連携したデジタルスタンプラリーの開催



サムライ・ニンジャ フェスティバル2023

今年度実績

サムライ・ニンジャ フェスティバル来場者数 約**3万人**



家康 あいち
絵巻 戦国

ロゴマーク



キャラクター
「いえやすくん」

2 ジブリパークやMICE、スポーツ大会を通じた誘客①

2023年度予算額
135,700千円

- ▶ 2022年11月に開園した**ジブリパーク来園者**を広く**県内周遊や宿泊につなげる**取り組みを実施

取組内容

- ▶ 県内市町村や観光事業者等と連携し、ジブリ作品のファンに喜んでいただけそうな観光プログラムを造成
- ▶ ジブリパークチケット販売サイト内に開設した特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」において、観光プログラムの販売・紹介や、ジブリパークを出発地としたモデルコースを紹介
- ▶ 「ジブリパークのある愛知」をPRするため、スタジオジブリが制作した観光動画「風になって、遊ぼう。」を首都圏や関西圏等の屋外ビジョン等で放映



© Studio Ghibli

今年度実績

ジブリ作品ファン向け観光プログラム造成数 **30**件



モデルコースパンフレット

2 ジブリパークやMICE、スポーツ大会を通じた誘客②

2023年度予算額
368,028千円

- ▶ **愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)** を活用した展示会産業の振興
- ▶ 「愛知・名古屋MICE推進協議会」による地域が一丸となった**MICE誘致活動の展開**や、**高級ホテルの誘致**といった受入環境の整備

取組内容

- 愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)における「展示会産業振興基金」を活用した、会場使用料金やシャトルバス運行費に対する助成などイベントの開催支援
- 新たな国際産業展の開催など、新たな展示会需要の創造
- 「2023日台観光サミット in 愛知」の開催支援
- 愛知・名古屋MICE推進協議会として、海外のMICE見本市(9月)・商談会(8・12月)への出展・参加、国内のMICE見本市(2月)・商談会(10月)への出展・参加、MICE説明会の開催(12月)、都市間連携共同プロモーションの実施(10月)、ランドオペレーター招請事業の実施(2月)、大規模MICEへの開催支援など
- ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致及び地域のブランド力向上に資する高級ホテルの立地を促進する補助制度の運用

今年度実績 ※2022年度実績

国際会議開催件数 **25** 件

愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された催事件数 **97** 件



愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)

3 受入体制の整備・充実と観光交流拠点としての機能強化

2023年度予算額
6,967千円

- ▶ 言葉の壁をできるだけ低くし、外国人旅行者の利便性、満足度の向上を図るため、**愛知県多言語コールセンター**を運営
- ▶ 県内を訪れる**ムスリム旅行者**の受入環境整備を実施

取組内容

- 24時間365日対応する愛知県多言語コールセンターを運営し、利用登録事業者への通訳サービスや翻訳サービスの提供や外国人旅行者からの問合せ対応を実施
- 県内事業者に向けたムスリム旅行者受入セミナーを実施

今年度実績

多言語コールセンター新規登録事業者数
ムスリム旅行者受入セミナーの実施回数

21 者
2 回

2019～
498者

Aichi Prefecture multilingual call center

English
中文
한국어
ไทย
Tiếng Việt
Tagalog
Español
Português
Français
etc

Available Languages and time

	24h		
	English	中文	한국어
	Español	Português	
	8am-8pm		
	廣東話	ไทย	Tiếng Việt
	Tagalog	Français	नेपाली
	Русский	українська	
		မြန်မာ	

多言語コールセンター
外国人旅行者向け名刺サイズチラシ

追加・拡充する取組

- 県内における訪日外国人旅行者向け体験型コンテンツの選定・磨き上げを行い、販売実現性が高いコンテンツ造成を支援するほか、ターゲットごとに適した販路で販売する仕組みを構築

柱4 グローバルな産業拠点機能の向上

概要

- グローバル展開を支えるための海外パートナーシップの強化
- 東京一極集中の是正やサプライチェーンの再構築の動きを踏まえた立地環境の整備・研究開発機能の向上

- 国際ビジネスの拡大支援 P39
- 立地環境の整備・企業誘致の推進 P40
- 研究開発拠点の強化 P41
- 2024年度に追加・拡充する事業 P32

1 国際ビジネスの拡大支援①

2023年度予算額
171,675千円

- ▶ 成長著しいアジア地域を始めとする**グローバル市場を獲得**するため、県内企業の海外進出を支援

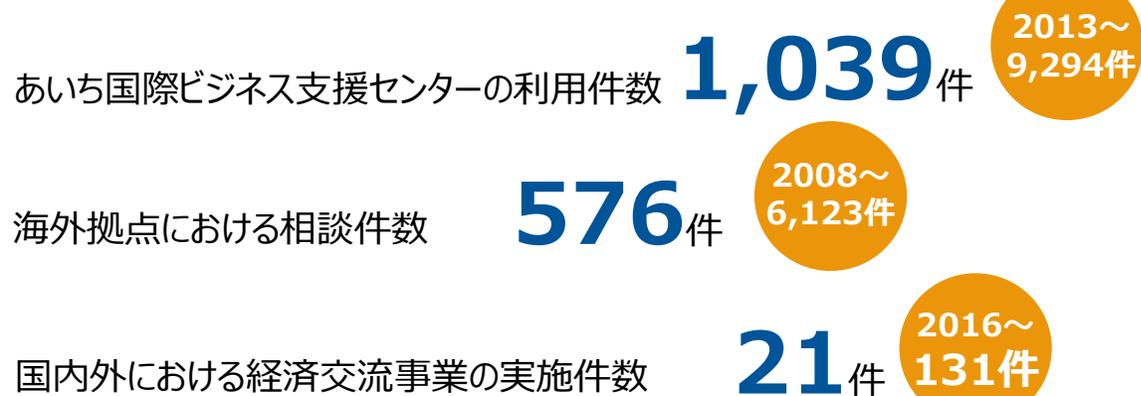
取組内容

- 「あいち国際ビジネス支援センター」における国際ビジネスに関する相談対応など、県内企業の海外展開に対する総合的な支援
- 「海外産業情報センター」「サポートデスク」における相談対応や進出企業間のネットワークづくりなど、県内企業の現地での事業活動の支援
- 経済連携等を締結したアジア地域を始めとした国・地域との連携・協力の推進



ベトナムサポートデスク意見交換会（ハノイ）

今年度実績



オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏とのMOU締結式（フランス・リヨン）

1 国際ビジネスの拡大支援②

2023年度予算額
26,299千円

- ▶ 欧州最大級の総合的な産業展示会「グローバル・インダストリー」の日本版である「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」(SMS)の開催に向け、**開催地としてのPR**、地元産業界への**出展働きかけ**や**機運醸成**等の支援を実施

取組内容

- 「グローバル・インダストリー2022(パリ)」の会場でSMSの開催を主催者とともに発表
- SMSにおいて愛知県パビリオンを出展
- 主催者等と連携して、地元企業・団体等に対して出展働きかけを実施
- 全国的な業界新聞への記事広告等によるPR

今年度実績

SMS 出展企業 **203**社 (予定) 出展企業のうち、愛知県パビリオンでの出展 **98**社 (予定)

グローバル
インダストリー

- ・フランスのマクロン大統領が経済金融大臣時代に提唱
- ・2018年パリで第1回を開催 以降パリとリヨンにおいて隔年で開催
- ・主催 GLイベント
- ・2023年開催実績 (リヨン) 出展企業数:約2,300社 来場者数:約38,700人

SMART
MANUFACTURING
SUMMIT BY GLOBAL
INDUSTRIE

- ・グローバル・インダストリーの日本版として、2024年3月Aichi Sky Expoで第1回開催
- ・主催 GLイベント
- ・規模 (予定) 出展企業数:約250社 来場者数:約15,000人



SMSロゴイメージ



SMS愛知県パビリオンイメージ

2 立地環境の整備・企業誘致の推進

2023年度予算額
5,366,023千円

- ▶ 企業立地のワンストップ窓口「**産業立地サポートステーション**」の設置や「**日本一**」の優遇制度で企業を力強くサポート

取組内容

- 「産業立地サポートステーション」をワンストップ窓口とした国内外の企業や市町村からの相談対応及び用地情報や各種優遇制度等の情報提供の実施
- 「産業空洞化対策減税基金」を活用した21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金による企業立地の促進
- 産業立地促進税制による不動産取得税の免除・減額

今年度実績

産業立地サポートステーションによる企業訪問・相談件数

1,721件 2006~
29,795件

21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金認定件数

40件 2012~
490件

産業立地促進税制を利用した企業数

4件 2002~
462件



福井ファイバーテック(株)/豊橋市
「新あいち創造産業立地補助金」を活用



(株)アラクス/稲沢市
「新あいち創造産業立地補助金」を活用

3 研究開発機能の強化

2023年度予算額
1,663,676千円

- ▶ **知の拠点あいち重点研究プロジェクト**の推進、大学や企業等との**共同研究**の実施、あいちシンクロトロン光センターの利活用の促進、知財ビジネスマッチングの実施

取組内容

- 「知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期成果活用プラザ」におけるプロジェクト参加企業の事業化支援及び地域企業への技術移転を推進
- 「新あいち創造研究開発補助金」による企業等が行う次世代成長分野の研究開発・実証実験の支援
- 企業等が提案したテーマについて共同研究の実施
- あいちシンクロトロン光センターの積極的な利活用の促進
- 大企業等の解放特許を活用した知財ビジネスマッチングの実施



知の拠点あいち

今年度実績

知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期の成果活用・実用化件数

13件

2019～
33件

あいちシンクロトロン光センターの利用件数

1,464件

2016～
14,116件

大学や企業等との共同研究件数

8件

2021～
97件

知財ビジネスマッチングによるマッチング件数

1件

2016～
23件

追加・拡充する取組

- 「新あいち創造研究開発補助金」において、ロボット未活用領域におけるロボットの導入を促進するため、導入に先立つ事業化可能性調査や技術検証・効果検証を支援する新規メニューを創設

柱5 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり

概要

- 誰もが自らの意欲に応じて、その能力を発揮し、生き生きと活躍できる環境づくりの推進
- 感染症を契機とした働き方改革の更なる推進及び雇用維持に向けた施策の推進

- 若者の活躍支援 P44
- 女性の活躍促進、男女共同参画社会づくり P45
- 高齢者、障害者の活躍支援 P46
- 外国人の活躍支援、多文化共生社会づくり P47
- 就職氷河期世代の活躍支援 P48
- 生き生きと働ける職場づくり P49
- 感染症の拡大に対応した雇用維持や新規学卒者の就職への支援 P50
- 2024年度に追加・拡充する事業 P51

1 若者の活躍支援

2023年度予算額
1,691,448千円

- ▶ 若者の活躍を支援するため、愛知労働局と連携して運営する「ヤング・ジョブ・あいち」において **就業に関するサービスをワンストップで提供**するほか、県立高等技術専門校において **職業訓練等を実施**

取組内容

- ▶ 「ヤング・ジョブ・あいち」において、キャリアコンサルティングや就職支援セミナーを実施
- ▶ 新規学卒者等の就職について、大学や関係機関と連携した支援を実施
- ▶ 県立高等技術専門校において学卒者、離転職者等を対象とした職業訓練やジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを実施
- ▶ 若者の早期離職を防止するため、職場定着に取り組む企業への支援の実施

今年度実績

「ヤング・ジョブ・あいち」における
利用者の就職者数
※12月末実績

4,006人

2019~
26,147人

大学・短期大学卒業予定者の就職内定率
※2022年度

96.9%



就労支援セミナー



専門校における訓練の様子

2 女性の活躍促進、男女共同参画社会づくり

2023年度予算額
36,906千円

- ▶ 「女性が元気に働き続けられる愛知」を実現するため、全庁をあげて、「**あいち女性の活躍促進プロジェクト**」を推進
- ▶ 女性起業家の**創出・育成**や**本格的な事業拡大の支援**
- ▶ 「あいち子育て女性再就職サポートセンター」（ママ・ジョブ・あいち）において、**出産・子育て等で離職した女性の再就職を支援**

取組内容

- 「女性の活躍促進宣言」や「あいち女性輝きカンパニー」認証制度による女性活躍に向けて積極的に取り組む企業等の支援
- 本格的な事業拡大を目指す女性起業家への伴走支援及び起業前の女性を対象とした起業に必要な知識等が学べるセミナー・ワークショップの実施
- 「あいち子育て女性再就職サポートセンター」において各種相談・カウンセリングや、ワークショップ、職場実習など、出産・子育て等で離職した女性の再就職を支援



あいち女性の活躍促進プロジェクトロゴマーク

今年度実績

女性の活躍促進宣言企業数

209 件

2014~
2,683件

セミナー・ワークショップ
への参加者数

140 人

2019~
462人

あいち子育て女性再就職サポ
ートセンター（ママ・ジョブ・あいち）
の利用件数

729 件

2019~
3,685件



ワークショップの様子

3 高齢者、障害者の活躍支援

2023年度予算額
74,377千円

- ▶ シルバー人材センターへの協力を通じた**高齢者の就労機会の確保**に取り組むとともに、国と一体となって運営する「**あいち障害者雇用総合サポートデスク**」において**障害者雇用の推進に向けた支援**の実施

取組内容

- 高齢者の就労を促進するため、再就職支援セミナーや就職説明会の開催
- 「シルバー人材センター」における就労機会の確保や技能講習等の取組を推進
- 「あいち障害者雇用総合サポートデスク」において、国と一体となり、企業からの相談対応等、障害者の受入れから職場定着に関する一連の支援を実施
- 障害者を初めて雇用する中小企業等に対する「中小企業応援障害者雇用奨励金」を支給

今年度実績

シルバー人材センター登録者数
(累計) ※2022年度

35,000名

あいち障害者雇用総合サ
ポートデスクの相談企業数

471社

2019~
3,288社

特別支援学校高等部卒業生
の一般就労の就職率
※2021年度

37.9%



再就職支援セミナー



あいち障害者雇用総合サポートデスク

4 外国人の活躍支援、多文化共生社会づくり

2023年度予算額
69,546千円

- ▶ 定住外国人の県内企業への一層の就労を促進するため、**相談窓口の設置**や企業に対する**専門家の派遣**など、きめ細かな就労支援を実施

取組内容

- 企業及び定住外国人向けの仕事に関する相談窓口を設置し、定住外国人の雇用を促進
- 専門家の派遣等により、企業及び定住外国人双方に対して、採用から定着までをフォローする伴走型支援の実施
- 定住外国人の介護職への就労促進を図るための雇用型訓練の実施

今年度実績

企業及び外国人から
の相談件数

280件

2019~
1,071件

定住外国人向け委託
訓練の就職率

100%

伴走型支援の対象企
業数

6社



相談窓口の様子

5 就職氷河期世代の活躍支援

2023年度予算額
119,187千円

- ▶ 就職氷河期世代の方の就職・正社員化の実現等に向けた取組を官民一体となって推進するため、経済団体、労働団体及び業界団体等で構成する「**あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム**」を設置

取組内容

- ▶ 「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」会議の開催
- ▶ 紹介予定派遣制度を活用した職場実習を実施
- ▶ ITスキルアップ訓練と職場実習を組み合わせた雇用型訓練を実施
- ▶ 地域若者サポートステーションにおいて心理相談を実施



あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム

今年度実績

「就職支援事業」における
就職決定者数

47人

2020～
180人

「就職氷河期世代デジタル人材
育成事業」における正規雇用
就職者数

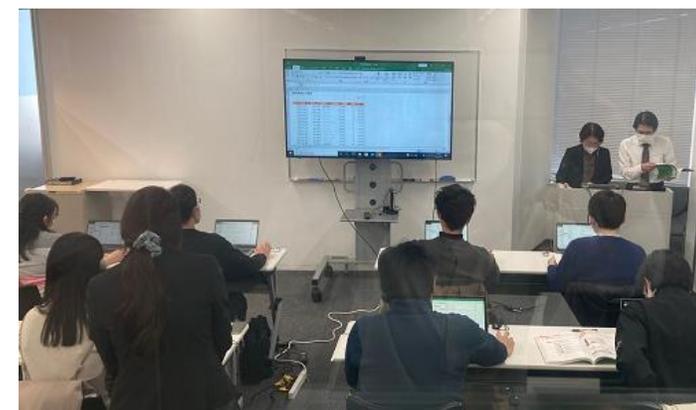
11人

2021～
28人

「地域若者サポートステーション」
における心理相談件数

324件

2021～
1,190件



就職氷河期世代就職支援事業

6 生き生きと働ける職場づくり

2023年度予算額
692,634千円

- ▶ あいちテレワーク推進アクションプランに基づく**テレワークの普及促進**、**地域一体となったワーク・ライフ・バランスの推進**、認定制度の創設による**中小企業等の有給休暇の取得促進**、**働き方改革の取組を支援**

取組内容

- ▶ 「あいちテレワークサポートセンター」「あいちテレワーク・モデルオフィス」の設置、「テレワーク・スクール」の開催
- ▶ 企業等における定時退社や年次有給休暇の取得、両立支援等を促進する「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の実施
- ▶ 愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録制度の運営
- ▶ 男性の育児休業取得促進に向けた中小企業等へのアドバイザーの派遣、奨励金の支給
- ▶ 「愛知県休み方改革マイスター企業認定制度」の創設、シンポジウムの開催

今年度実績

愛知県ファミリー・フレンドリー
企業の新規登録企業数

79件

労働時間の短縮に向けた取組を実施
している企業の割合 ※2022年度

58.5%



愛知県休み方改革
マイスター企業

あいちワーク・ライフ・バランス
推進運動 2023



あいちワーク・ライフ・バランス
推進運動賛同事業所



愛知県ファミリー・
フレンドリー・マーク

7 感染症の拡大に対応した雇用維持や新規学卒者の就職への支援

2023年度予算額
161,047千円

- ▶ 「あいち労働総合支援フロア」における相談対応など、**きめ細かな支援による雇用の維持**を図るとともに、**新規学卒者等の就職について大学等と連携した支援**を実施

取組内容

- 「あいち労働総合支援フロア」等における労働関係法令等の周知や労働相談の実施
- 学生が就職活動に役立つ情報を掲載したガイドブックを作成



あいち労働総合支援フロア

今年度実績

大学・短期大学卒業予定者の
就職内定率 ※2022年度

96.9%

「あいち労働総合支援フロア」等における労働相談件数 12月末時点

3,976件

2019~
27,229件



就職に向けたガイドブック

追加・拡充する取組

- 男性従業員が育児休業を取得した中小企業等に対する奨励金の支給
- 県内企業における外国人材の受入れを支援するため、制度説明や先行事例を紹介するセミナーを開催
- 中高年齢者向けの市町村出張相談を実施
- 中小企業における「女性の採用」に特化した「取組ガイド」の作成

柱6 愛知の産業を担う人材力の強化

概要

- デジタル人材を始めとしたイノベーションを創出する人材や高度なモノづくり人材の育成
- 感染症の影響により地方への関心が高まる中での国内外からの人材確保
- 自らの知識や能力を高めることができる環境づくり

- | | |
|--------------------|-----|
| • イノベーション人材の育成 | P53 |
| • 高度なモノづくり人材の育成 | P54 |
| • 国内外からの人材確保 | P55 |
| • 2024年度に追加・拡充する事業 | P57 |

1 イノベーション人材の育成

2023年度予算額
26,560千円

- ▶ 次代の科学技術を担う人材の育成を図るため、**わかしゃち奨励賞**の実施、**サイエンス実践塾出前授業**等の開催、**あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室**の運営等を行う。

取組内容

- わかしゃち奨励賞を実施し、若手研究者の優秀な研究提案を公募・表彰
- サイエンス実践塾出前授業などの中高生向け科学体験授業を開催
- あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室の運営と併せて、ノーベル賞受賞者による特別講演会を開催
- 子供たちに興味関心を高めるため、出張発明クラブを開催

今年度実績

わかしゃち奨励賞表彰件数

12名
2006～
117名

中高校生向けサイエンス
実践塾の開催

1,375名

2018～
4,649名

出張発明クラブ開催回数

6件
2016～
45件

あいち・なごやノーベル賞受賞者
記念室 来室者数

37,579名

2021～
137,176名



あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室



出張発明クラブ

2 高度なモノづくり人材の育成

2023年度予算額
1,649,101千円

- ▶ 「愛知県産業人材育成支援センター」において**県内中小企業等の人材育成**を支援するとともに、技能五輪メダリスト等による出前講座の実施など**技能の継承や技能を尊重する気運の醸成を図るための取組**を実施

取組内容

- ▶ 産業人材育成連携コーディネーターが、中小企業が抱える課題を的確に把握し、従業員に必要な職業訓練プログラムを提案、情報提供等を実施
- ▶ デジタル人材を育成するため、中小企業等へのアドバイザー派遣、研修の実施から終了後のフォローアップまでの伴走支援、現場のリーダーや一般社員等の階層別に人材育成研修を実施
- ▶ 県立高等技術専門学校における産業界のニーズを踏まえた訓練コース・カリキュラムの実施
- ▶ 技能五輪メダリスト等による出前講座、小中学生を対象としたロボット競技大会等を開催するとともに、本県で開催された2023年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックにおいて併催イベントや子どもたちの見学支援を実施

今年度実績

産業人材育成コーディネーターコーディネート件数

165件

2019～
1,457件

デジタル人材育成研修会の参加人数

2,090人

2021～
4,008人



2023年度技能五輪全国大会



あいち人材力強化プロジェクト
イメージキャラクター「アイチータ」

3 国内外からの人材の確保①

2023年度予算額
97,608千円

- ▶ 本県への UIJ ターンを促進するため、首都圏や関西圏等の UIJ ターン希望者に対し、**県内企業の魅力発信**や**個別相談等の就労支援**を実施

取組内容

- ▶ 「あいちUIJターン支援センター」（東京と名古屋に設置）においてUIJターン希望者に対する県内企業の求人情報の提供や個別相談等の就労支援の実施
- ▶ 「あいちUIJターン支援センター」のマッチングサイト掲載企業に新規就業した東京23区からの移住者に対する「移住支援金」の支給
- ▶ 県外大学との就職支援協定に基づく、学生の愛知県へのUIJターン就職の促進

今年度実績

移住支援事業による
移住就業者数

30人 **2019~57人**

移住支援事業における
移住起業者数

2人 **2019~4人**

マッチングサイトに新たに
掲載された求人件数

282件 **2015~1,411件**



採用支援セミナー



マイナビ転職フェアin東京

3 国内外からの人材の確保②

2023年度予算額
69,752千円

- ▶ 都市部の大企業等で**実績のある人材等を県内の中小企業への就職に結びつけるための支援**を実施
- ▶ **相談窓口の開設**や**国家戦略特区**等の活用により、**起業を目指す県内外国人等の事業活動を総合的に支援**

取組内容

- ▶ 「**愛知県プロフェッショナル人材戦略拠点**」による都市部大企業等で実績のあるプロフェッショナル人材と県内中小企業との人材マッチングの支援を実施
- ▶ 「**あいち外国人起業&経営支援センター**」において、外国人経営者や起業家が抱える様々な課題に対し、**ワンストップでの支援**を実施
- ▶ **愛知県国家戦略特区**等を活用し、**外国人起業家の在留資格要件の猶予及び専門家による事業展開支援**を実施

今年度実績

プロフェッショナル人材戦略拠点事業の成約件数

48件

2019~
207件

プロフェッショナル人材戦略拠点事業の相談件数

313件

「あいち外国人起業&経営支援センター」における相談件数

103件

「あいちスタートアップビザ」の申請件数

15件



プロフェッショナル人材戦略拠点



外国人起業&経営支援センター

追加・拡充する取組

- 新規雇用者の奨学金返還を支援する中小企業等に対し、奨学金返還費用の一部を補助する取組
- 一般社員向けに生成AIを業務で活用できる知識・スキルを習得する研修の実施
- 2024年度技能五輪全国大会・全国アビリンピックの開閉会式、選手交流会の開催
- 子どもたちの大会見学を支援する競技解説ガイドの配置や大会見学ツアーの実施
- 2028年技能五輪国際大会招致に向けた各国・地域に対する働きかけや県内の招致機運醸成のための啓発イベントの実施
- 東京都に本部を置く大学に通う学生が、本県企業への就職活動をする場合、採用面接を受ける際の交通費の半額を補助

基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

概要

- 本県の産業経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業については、感染症により深刻な影響を受けるとともに、デジタル化への対応など様々な課題を抱えていることから、社会の変化に柔軟に対応した経営革新を支援

- 経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援 P59
- デジタル技術の導入の支援 P61
- 感染症や災害リスク等に対応する取組の支援 P62
- 中小・小規模企業の魅力発信 P63
- 2024年度に追加・拡充する事業 P64

1 経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援①

2023年度予算額
199,947,363
千円

- ▶ (公財) あいち産業振興機構、商工会・商工会議所を始めとした**支援機関による幅広い経営支援**を実施
- ▶ 県融資制度及び小規模事業者等設備貸与事業を通じて**金融・設備投資を支援**

取組内容

- ▶ あいち産業振興機構における経営・技術等の相談対応、専門家派遣等による中小企業の経営課題に対してワンストップで対応
- ▶ 商工会・商工会議所の経営指導員による伴走支援型の経営支援及び小規模事業者の販路開拓のため、商工会等が整備するキッチンカーに対する支援
- ▶ 県融資制度における「新型コロナ借換」、「伴走支援」による、県内中小・小規模企業の資金繰り支援
- ▶ 小規模事業者等設備貸与事業による必要設備の割賦販売・リース



あいち産業振興機構のマネージャーによるセミナー



商工会に納品されたキッチンカー (商工会等キッチンカー導入促進費補助金)

今年度実績

ワンストップ窓口
の利用件数

8,375件

2016~
61,354件

商工会・商工会議所の経営
指導員による課題解決提案件数

2,672件

2016~
27,177件

経済環境適応資金
原油・原材料高緊急対応枠
融資実績

1,671件
257億円

2021.12~
7,263件
1,207億円

1 経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援②

2023年度予算額
276,490千円

- ▶ 各種助成制度において中小・小規模企業の**新分野進出・販路開拓を支援**するとともに、県内事業者の**事業承継を促進**するための各種施策を展開

取組内容

- 中小企業等が取り組むポストコロナ社会の具体化に向けた新サービス・新商品開発及び販路拡大を支援
- 中小企業者等が行う地域資源を活用した新製品・新商品の開発や販路拡大、人材育成に必要な費用を助成
- 名古屋商工会議所に設置した「愛知県事業承継・引継ぎ支援センター」において、各種課題にワンストップで対応
- (公財) あいち産業振興機構において後継者育成塾を開催するほか、県において非上場株式等の承継に伴う贈与税・相続税の納税猶予のための認定等を実施



医療従事者の負担と感染リスクを軽減する寝台部の脱着が可能なカーボン製軽量ストレッチャーの開発【新サービス補助金】

今年度実績

新型コロナウイルス感染症
対策新サービス補助金
採択件数

41件

2020~
232件

あいち中小企業応援ファンド
新事業展開応援助成金
交付決定件数

40件

2018~
203件

後継者育成塾
参加事業者数

36者

2018~
221件

2 デジタル技術の導入の支援

2023年度予算額
99,741千円

- ▶ 県内中小企業・小規模企業の**生産性向上**や**新たな価値創出**が図られるよう、デジタル技術の導入を支援
- ▶ **あいち産業DX推進コンソーシアム**における情報発信や施策展開等、関係団体と連携して地域全体のデジタル化・DX支援を強化

取組内容

- デジタル技術の利活用に係る経営者向けセミナーや研修を開催
- デジタル技術活用相談窓口を運営し、企業の課題に対する相談対応やITベンダーとのマッチングを実施
- デジタルツールの導入サポートや業務改善コンサルを通して、導入支援
- デジタル化の導入事例を横展開し、企業のデジタル化による業務プロセスの改善・構築に係る導入・実証を支援するための補助金を設置
- デジタル人材育成に関するアドバイザー派遣や、社内カリキュラムの作成から研修の実施、終了後のフォローアップまでの支援を行うモデル事業を実施



2023年度デジタル化企業見学

今年度実績

デジタル技術活用支援・マッチング件数

109件

2019~
473件

デジタル人材育成アドバイザー派遣回数

220回

2022~
464回



デジタル人材育成アドバイザー派遣

3 感染症や災害リスク等に対応する取組の支援

2023年度予算額
26,184千円

- ▶ 災害時の業務継続やサイバー犯罪など、中小企業が抱える**様々なリスクに対応する各種施策を展開**

取組内容

- 業種や企業規模、防災やBCPに対する取り組み具合に応じたあいちBCPモデルの提供及び講習会・出前講座の開催
- 技術情報の管理をはじめとする経済安全保障を推進するためのシンポジウムを開催
- 経営者向けに、製造業向けサイバーセキュリティセミナーを開催し、最新の動向や対策について紹介
- 県内中小企業等に対するセキュリティ対策状況の診断を実施するとともに、診断結果をもとに改善提案を実施

今年度実績

BCP策定に係る講習会
参加企業数

13企業 **2016~
359企業**

経済安全保障に関する
シンポジウム参加人数

90名

サイバーセキュリティセミナー
参加人数

42名



2023年度BCPセミナー



経済安全保障に関するシンポジウム

4 中小・小規模企業の魅力発信

2023年度予算額
4,474千円

- ▶ **愛知県の製造業の実力を広く国内外にアピール**し、世界的ブランドへと知名度の向上を図るため、県内の優れたモノづくり企業を「**愛知ブランド企業**」として認定。

取組内容

- 認定企業の認知度向上のため、専用Webサイト等による情報発信の実施
- 認定企業の販路拡大のため、展示会への出展支援を実施
- 人材確保の機会提供のため、大学等と連携した出前講座や採用活動支援の実施



今年度実績

Webサイト・ページビュー件数 **110,406**千件

愛知ブランド 企業

オンリーワンやトップシェアなど世界に誇る独自の技術や製品を持つ愛知県内の優れたモノづくり企業417社（2024年3月現在）を「愛知ブランド企業」として認定。

<2023年度新規認定企業>

盟和精工(株)、(株)ナカシマ、(株)青海製作所、丸和機械(株)、三洲電線(株)、槌屋ヤック(株)、加藤煙火(株)、(株)ヨシダコーポレーション、(株)スター精機、大栄工業(株)、(株)Askalカバン工房、眞和興業(株)、イヅミ工業(株)、日本グラスファイバー工業(株)



大学での出前講座

追加・拡充する取組

- 県制度融資において、既往のコロナ関連融資を借り換えるサポート資金【新型コロナ借換】の取扱期間の延長